

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年12月27日

計画の名称	枚方市下水道整備計画		
計画の期間	平成22年度～平成26年度 (5年間)	交付対象	枚方市
計画の目標	①汚水整備を計画的に進め、生活環境の改善を図る。		

計画の成果目標 (定量的指標)	①汚水整備人口普及率が92%から94.8%へ向上させる。
-----------------	------------------------------

定量的指標の定義及び算定式	①下水道整備人口普及率 下水道整備区域内人口 (人) / 行政人口 (人) (H26末見込 406,000人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
計画		92%	93.7%	94.8%	整備目標 +2.8ポイント
実績		92.3%	94.1%	95.1%	整備達成 +2.8ポイント

全体事業費	計画	合計 (A+B+C)	3,809百万円	A	3,379百万円	B	0百万円	C	430百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	11.3%
	実績		3,628百万円		3,342百万円		0百万円		286百万円		7.9%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
	枚方市上下水道局において評価を実施し、枚方市上下水道事業経営審議会に意見を求めた。	平成28年11月
		公表の方法
		枚方市ホームページにて公表する。

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-12	下水道	一般	枚方市	直接	—	汚水	新設	津田処理分区	汚水管 φ200~250 L=8,511m	枚方市	計画					1,057	
											実績					986	
1-A1-13	下水道	一般	枚方市	直接	—	汚水	新設	中部処理分区	汚水管 φ200~350 L=13,052m	枚方市	計画					1,595	
											実績					1,565	
1-A1-14	下水道	一般	枚方市	直接	—	汚水	新設	牧野長尾処理分区	汚水管 φ200~250 L=3,551m	枚方市	計画					520	
											実績					558	
1-A1-15	下水道	一般	枚方市	直接	—	汚水	新設	村野処理分区	汚水管 φ200~250 L=839m	枚方市	計画					74	
											実績					74	
1-A1-16	下水道	一般	枚方市	直接	—	汚水	新設	寝屋川枚方処理分区	汚水管 φ200~250 L=425m	枚方市	計画					73	
											実績					68	
1-A1-17	下水道	一般	枚方市	直接	—	汚水	新設	御殿山処理分区	汚水管 φ200~250 L=188m	枚方市	計画					32	
											実績					35	
1-A1-18	下水道	一般	枚方市	直接	—	ポンプ場	増設	出口中継ポンプ場増設	沈砂池設備 (自動除塵機1機 他)	枚方市	計画					28	
											実績					56	
合計											3,379						
B 関連社会資本整備事業											3,342						

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	下水道	一般	枚方市	直接	—	新設	津田処理分区	汚水管 φ200~250 L=3,032m	枚方市	計画					142	
										実績					89	
1-C1-2	下水道	一般	枚方市	直接	—	新設	中部処理分区	汚水管 φ200~250 L=4,750m	枚方市	計画					188	
										実績					105	
1-C1-3	下水道	一般	枚方市	直接	—	新設	牧野長尾処理分区	汚水管 φ200~250 L=1,339m	枚方市	計画					83	
										実績					83	
1-C1-4	下水道	一般	枚方市	直接	—	新設	寝屋川枚方処理分区	汚水管 φ200~250 L=72m	枚方市	計画					6	
										実績					6	
1-C1-5	下水道	一般	枚方市	直接	—	新設	御殿山処理分区	汚水管 φ200~250 L=124m	枚方市	計画					11	
										実績					3	
合計											430					
合計											286					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-1	基幹事業 (1-A1-13) と接続する汚水管渠 (支線) を一体的に整備することで、下水未整備地区の普及促進を図る	
1-C1-2	基幹事業 (1-A1-14) と接続する汚水管渠 (支線) を一体的に整備することで、下水未整備地区の普及促進を図る	
1-C1-3	基幹事業 (1-A1-15) と接続する汚水管渠 (支線) を一体的に整備することで、下水未整備地区の普及促進を図る	
1-C1-4	基幹事業 (1-A1-17) と接続する汚水管渠 (支線) を一体的に整備することで、下水未整備地区の普及促進を図る	
1-C1-5	基幹事業 (1-A1-18) と接続する汚水管渠 (支線) を一体的に整備することで、下水未整備地区の普及促進を図る	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

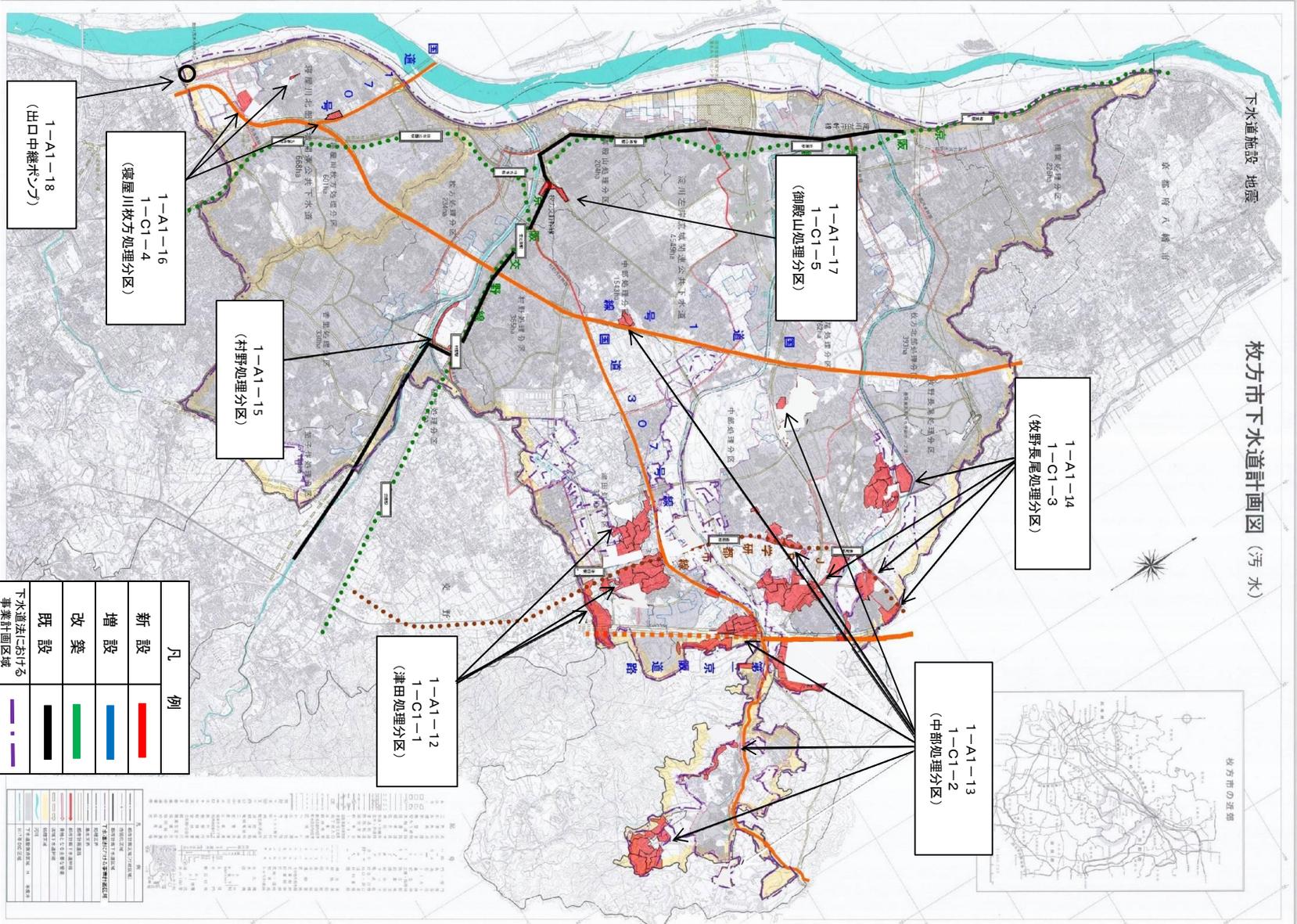
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・汚水整備人口普及率が92.3%から95.1%に向上したことにより、水洗化人口が平成21年度末の347,245人から平成26年度末の372,401人に増加し (25,156人増)、生活環境の改善を図ることができた。 ・市内河川のBOD (生物化学的酸素要求量) の値が減少し、公共用水域の水質を改善することができた。		
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道整備人口普及率)	最終目標値	95.1%
		最終実績値	95.1%
		目標値と実績値に差が出た要因	計画的に汚水整備を進め、目標を達成することができた。
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)			

3. 特記事項 (今後の方針等)

- ・計画期間が平成27年度から平成31年度の「第2次枚方市下水道整備計画」においても、生活環境の改善を図るため、引き続き汚水管渠の整備を進める。
- ・整備計画を変更した際、定量的指標の現況値及び目標値を当初現況値92%から+2.8ポイントの整備を目標に94.8%として計画した事業を実施し、目標の+2.8ポイントの整備を達成したが整備状況を正確に示すため、当初現況値92.3%からの達成値とし、2.8ポイントを加算した95.1%を本計画の最終目標値として評価することとした。
- <平成28年11月8日に開催された枚方市上下水道事業経営審議会における主な意見>
 - ・目標の達成状況や効果の発現状況など、評価内容については妥当である。
 - ・平成30年度の住居系地域の汚水概成を目標に、更に一層の整備を進めること。

社会資本整備計画

計画の名称	枚方市下水道整備計画		交付対象	枚方市
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)			



枚方市下水道計画図 (汚水)

凡例	新設	増設	改築	既設
下水道法における事業計画区域	■	■	■	■

1-A1-18 (出口中継ポンプ)	1-A1-16 (榎屋川枚方処理分区)	1-A1-15 (村野処理分区)	1-A1-17 (御殿山処理分区)	1-A1-14 (牧野長尾処理分区)	1-A1-13 (中部処理分区)	1-A1-12 (津田処理分区)
-------------------	---------------------	------------------	-------------------	--------------------	------------------	------------------